

触手通販始めました！

ブローグ

「うあ、こんなサイトもあるんだ……」

「新しいデイルドを探してたけど、こんな……すごい形。触手型大人のおもちゃ、ホントに使う人いるの？」

「うわっ……うわー」

「うねうねが、お肉に食い込んで……ごくり」

「きちんと自分で動いてくれるんだ。ローションも内蔵。表面はつるつとしててそこまでグロくはないけど……いやいやないよね」

「使い捨てでちょっと高いし……あ、初心者セットがある」

「ポイント制度使ったら90%OFFもしてくれるんだ……」

「いやいや。でも、これはないでしょ。本当の意味で、ジョークグッズね」

シーン1

「か、買っちゃった……」

「ま、まあ、お試し、お試し。一番安いとは言ってもそこそこしたし、もったいないから……ええっと、説明書説明書。初心者セットは……あ、使い方は次のページからか」

「まず、人肌のお湯1Lを容器に入れて、使用者のよだれを、よだれ！？　うう、いいのかな？　んちゅ……で、付属の触手の素を投入」

「おお、ピンクのビー玉みたいのがどんどん膨らんで……触手だ。ほんとにサイトに載ってた感じの触手になった」

「匂いはそんなにないのね。ああ、初心者セットは抑えめって書いてたっけ。茹でたウインナーみたいにぷにぷにでちょっと硬めのぽつぽつがある……つんつん、結構かわいいかも？　触手くん」

「おもちゃなんだよね？　生き物っぽいけど……うう、どうしよう」

「肌を密着させると自動であ、あそこか弄ってくれるって書いてあるけど……いつもみたいに椅子でシちゃっても大丈夫よね」

「ビニールシートしいて、椅子の上に触手くんのつけて……あ、あとは座っちゃうの？　つぶれないかな？　ちょっとだけ乗っかかるように……んっ」

「ちょっと冷たい。あ、あ、ひゃっ、ぬちよってッ！？　んあ、くちゅくちゅ私のクリト

リス触ってきてるっ……ん、はあっはう、んふっ……あん……ハー、ハー、ハーツ……くうっ……これ思ったより激しくないけどいいかも」

「あんっ♡ あ♡……ん！ ふう♡！ ふうっ♡！……はふ、ん♡……ツうあ！」

「動いてくれるの知らない人にいじられてるみたいで興奮しちゃう……もっと乗っかかったらどうなるんだろう」

「ん♡ んあ♡ ふあっ♡！……んっ、んあっ、はう……っふあ、んんっ♡！……はあ♡ はう……にゆるにゆるしてるのに固い……ディルドと違って動いてる触手くんにあそこ擦り付けるのすごい気持ちいい♡」

「もっと、ん♡……あ♡ はあ♡……これ好きかも♡……はあ、はあ！……あ、んあ♡！……フウ、フッ！……ん♡ んん♡ ふあっ♡」

「ローションもちょうどいいあったかさでっ、ふあっ、ふああ……お、おちんちんってこんな感触のかな？ ん♡ 柔らかいのに芯はかたくって♡」

「あんっ♡ 触手くん大きくなってきて舌でなめられてるみたい♡」

「え？ きゃっ！？」

「ふあ、すっごい長く伸びちゃった。んんっ、服の中にもぐって……あ、これ……ん♡ おっぱいも弄ってくれるの？」

「はっ、はあ♡ んはあ♡ しゅごい、乳首っ、クリトリスっ、んひゃ♡ お尻もなめられてる♡」

「わたし触手くんに食べられちゃってる♡」

「フウ、フッ！……ん♡ んん♡ ふあっ♡！……ハアッ、ハアッ♡！！ ふあッ♡

♡!.....ん! ふう♡! ふうっ♡!.....はふ、ん♡.....ッうあ! ん、ん♡ おっばい弄るのこんな気持ちよかったなんて!? んあっ♡ にゆるにゆる気持ちいよう♡」

「コリコリっ♡ コリコリされるのいいのお!! んあっ、はあっ♡」

「ハア、ハア♡ ハアッ♡!.....くうっ! ん♡ んふう♡!.....ごくっ、んあ♡ふあっ♡!.....んっ、んあっ、はう.....っふあ、んんっ♡!!」

「あ、もう一本伸びてきたあ.....んちゅ♡.....キスしちゃった」

「キミはお口担当? ちゅ、ちゅぽっ♡.....これはディルドなめてるみたいなのだから.....んちゅ、れろ.....ん、ちゅるっ♡」

「ローション、触手くんの粘液とところでエッチだよお♡.....んちゅ、私のよだれと混じって、ちゅ、ちゅっ.....ん? んぶっ!?!」

「ちよっ.....んふあ、んんっ.....じゅるっ、んぷっ♡.....ん、んんあ.....んぷっ.....はあ、はあっ♡」

「もう、急に口の中に入って来るなんて.....でも、ゾクゾクしてドキドキしちゃった.....こ、こんどはちゃんと心の準備を、んあっ♡」

「こ、この触手くんほんとにおもちゃ!?! 生きてるみたいは.....んあっ♡.....はあ、はう.....ちゅちゅ、ちゅるっ♡.....じゅるっ、じゅぽ、じゅぶぶ♡.....んちゅ、ちゅ♡」

「触手くん、ぷにぷにして柔らかいのは.....ン♡ 芯は硬くて♡ 舌も乳首も、クリトリスもくにくにされるの気持ちよすぎ♡」

「んぶっ、ん♡.....ふあ、んあ♡.....ん、んっ♡、んん♡」

（イっちゃう♡ 触手くんのなめなめでイっちゃう♡）

「ふあっ♡ あ、ああ♡ イくううー♡♡♡！！！」

「……んあ、はあ、はあ。今迄で一番イっちゃったかも……え」

「あ、ちよつと……んひゃ♡」

「ひう♡ そうだ、触手くんっ水につけて20分は動きつ、んひゃ♡ 続けるんだった♡
そうよね、まだ、あ、あそこに入れてもいないんだから……これからが本番よね♡」

「でも私、イったばかりでッ♡」

「ひゃっ、触手の数……倍くらいになってるう……あ、ああ♡ あああ♡♡♡」

「あ、あ♡ あそこに触手くんの先端が……押し広げてえ♡ んあっ……入っちゃった。
デイルドより奥にとどいて、ん♡ はあ、はあ♡ う、動いたらどうなるんだろ」

「んぶっ♡ ん、んあ♡……んちゅ♡ ん、ん♡」

「だんだん、動きが早くなって……入口こしゅられるの♡ いい♡ 触手くんの突起がこ
しゅれるの好き♡！！！」

「ハー、ハー、ハー♡……くうっ、ん、んふう……こくっん……はあ、はあ！……あ、
んあ……フー、フッ！……ん、んん♡……ハアッ、ハアッ♡」

（イクの止まらない！？ ダメ、これダメになる！？）

「ふっ、っふあ、んんっ♡……はあ、はう♡……ふー、ふーっ、んっんん♡……はあ、
はあ、はあ、はあっ……♡」

「れろ、ん♡……じゅぼ、じゅぼ♡……んー♡ んんっ♡……じゅるっ……ちゅっぱ♡」

「はあ、はあ♡……ん♡ こんな聞いてない！？ ふえ、まだ元気なの！？」

「ひあっ、んんん♡ ダメ。と、とめてえっ！？」

「……あ、止まってくれた……ほんとにおもちゃ？ ん……でも20分しか持たないし……
ゆっくり、いじってくれるなら……ん♡」

「ふぁ♡ 今度はゆっくり気持ちいいところ♡ んぁっ、これしゅき♡ あ、あ♡ あ
ぁっ♡」

「おっぱいもしゅってくれるの？ 触手ローション冷たいのに、触れたところあちゅく
なって♡ ドキドキが止まらなくなってる……ふー、ふーっ♡……にゅるにゅる気持ち
いい！」

「ん、んっ♡ いいよ、もっと早く♡ おっぱいもおまんこもいっぱいいじって♡」

「ふっ、っふぁ♡ んんっ……はぁ、はう♡……ふー、ふーっ、んっん♡……はぁ、
はぁ、はぁ、はぁっ♡ しゅごい♡ 触手オナニー♡ しゅごいよお——」

「んぁっ♡ 声、抑えないといけないのに♡」

「あ……触手くんくわえてたら、声、ん♡ 抑えられる？ はむっ♡……んちゅ、ちゅ♡……
れろ、れろれろ♡……ん♡ んーっ、んちゅ♡……ちゅぼっ♡……ん、ん♡……んふー
♡」

（これ、おち、おちんちんお口で咥えてるみたいで……ん♡ 体敏感になっちゃう♡）
「ん♡ じゅぽ♡ じゅるる♡……ん、ん♡……ん♡ んふう♡」

（口の中でおっきくなってるう♡ 息、出来ないのに♡ くるしいのが気持ちよくなって
ドキドキ止まらない♡♡♡!?!）

「んっー♡!?! んぁ♡……れろ、んちゅ♡……んふう♡……ん、んッ♡ んん♡♡♡」

「ぶっは♡……はぁ、はぁ♡……これ、ほんとに初心者用!?! んぁっ♡」

「触手くんの先っぽが膨らんで……え、うそ！？……やつ、んああ♡！？ すいちゅいちゃった♡ んお♡ 乳首とクリトリス、吸っちゃダメ！？」

「おひい♡ お、んお♡ 止まって！？ 私こわ、壊れちゃう！？ んあ♡ え、ええ！？ なんでえさつき止まってくれたのに！？」

「ひうつ♡！？ しゅわれるのダメえっ♡ きもちよしゅぎて♡ あひいっ♡ んひっ♡」

「おもちゃ♡ 私が触手のおもちゃになってるう！？ 気持ちいいの止まらない♡」

「ふぁっ♡♡！……ん！ ふう♡！ ふうつ♡！……はふ、ん♡……ッうあ！……ハア、ハア♡ ハァっ♡！！ あひっ♡ んお♡ 全身敏感になって♡ んはぁっ♡ 触手で触られるだけでいっぱいイっちゃうの♡」

「あ、ああ♡ あああ♡ 来ちゃう！？ 高いのきちゃ、んんん——♡♡♡！……？」

「ひぐう♡ んお♡ あひっ♡ もう体に力はいりゃない……あ！？」

「出ちゃう！？ 我慢でき♡！？ でっ……あ、ああ♡……あたしのおしっこ飲んじゃってる！？ うう、部屋の、中に飛び散るよりはいいけどお……んあ♡ はずかしいよう♡」

「ふぁ♡ 20分経ったのか……すごかったあ♡」